

ハーモニー

コラム メリケントキンソウ 芝生に侵入する危険な外来植物

最近都市公園の芝生広場やゴルフ場にトゲのある小さな植物が見られるようになりました(写真1)。芝生の中にパセリを小さくしたような葉を一面につけ、芝生よりも青々とした緑色で3月から4月ごろに目立ちます(写真2)。この植物はメリケントキンソウといい、南アメリカ原産の外来植物です。メリケントキンソウはキク科の一年草で、大きくなっても30cm程度で、芝生の中をロゼット状に広がるので、ほとんど目につきません。この小さな植物が問題になるのは、果実にトゲのあることで(写真3)、5~6月の果実が成熟する時期に芝生を素足で歩くと、足に刺さって怪我をします。

最近では河川敷公園で広がり、野球やサッカーなどの練習や試合で怪我をする被害が報告され、国に対策を求めるよう意見書を提出する事態に発展している地域もあります。最近の20年ほどで、関東以西のほぼすべての都府県で確認されています。

効果的な駆除法は確立されておらず、人手による除草、アーザラン系除草剤などが試されていま

すが根絶するには長期間かかる可能性があります。とくに問題なのは河川敷に侵入した場合で、1ヶ所で駆除しても、他の地域(上流や下流など)で残っていれば、また復活する可能性があります。このような場合、流域全体で駆除方法を考えなければなりません。

藤井俊夫(自然・環境再生研究部)



写真1 芝生に生えるメリケントキンソウ(中央の明るい緑色の部分、4月中旬撮影) 右の濃い緑色はシロツメクサ。



写真2 全形 大きさは5cm程度。



写真3 トゲのある果実 大きさは約3mm。

トピックス

新入館員 自己紹介



情報管理課
中前 純一

兵庫県教育委員会事務局高校教育課から異動してきました。前任では産業教育を中心にキャリア教育、高校教育改革を担当してきました。これまでの経験を活かして、子どもから大人までがわかりやすい人と自然の博物館のホームページ作りができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



総務課
広岡 由記子

今年の4月から人と自然の博物館総務課で勤務している広岡と申します。給与や補助金の担当をしております。博物館での仕事は初めてですが、たくさんの方のお役に立てるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。



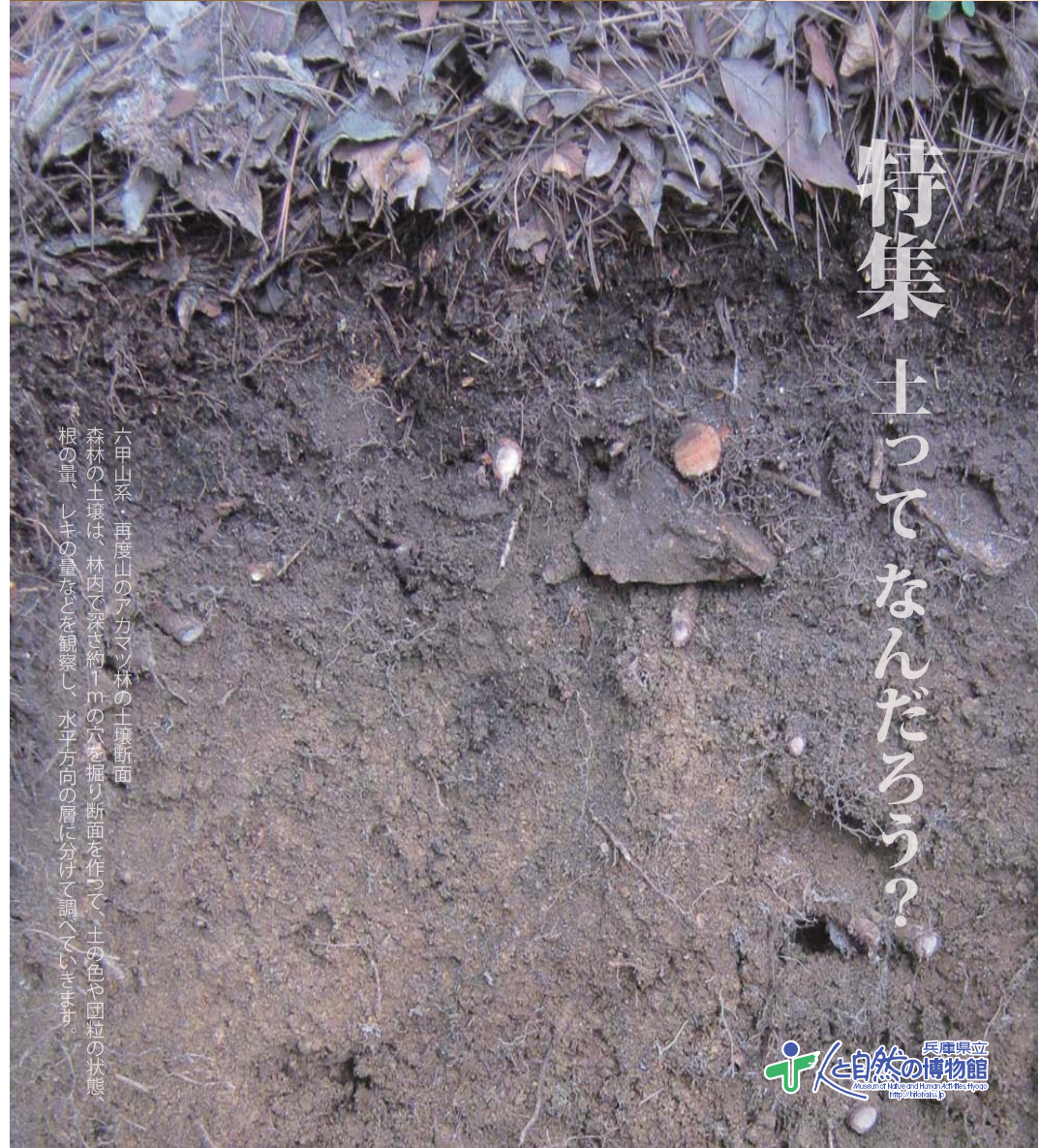
フロアスタッフ
新メンバー

4月からフロアスタッフに加わりました。来館される皆さまに、博物館の楽しさをお伝えし、来て良かったと思っていただけるよう、頑張ります！よろしくお願いいたします。



生涯学習課
余田 敏

38年間の教員生活を終え、4月から勤務しています。今までと全く違う仕事ですが、何事も積極的に吸収しようと意気込んで取り組んでいます。他の館員の皆さんとともに頑張ります。



特集 土つてなんだろう？

六甲山系、再度山のアカマツ林の土壌断面。森の土壌は、林内で深さ約1mの穴を掘り断面を作って、土の色や団粒の状態、根の量、レキの量などを観察し、水平方向の層に分けて調べていきます。